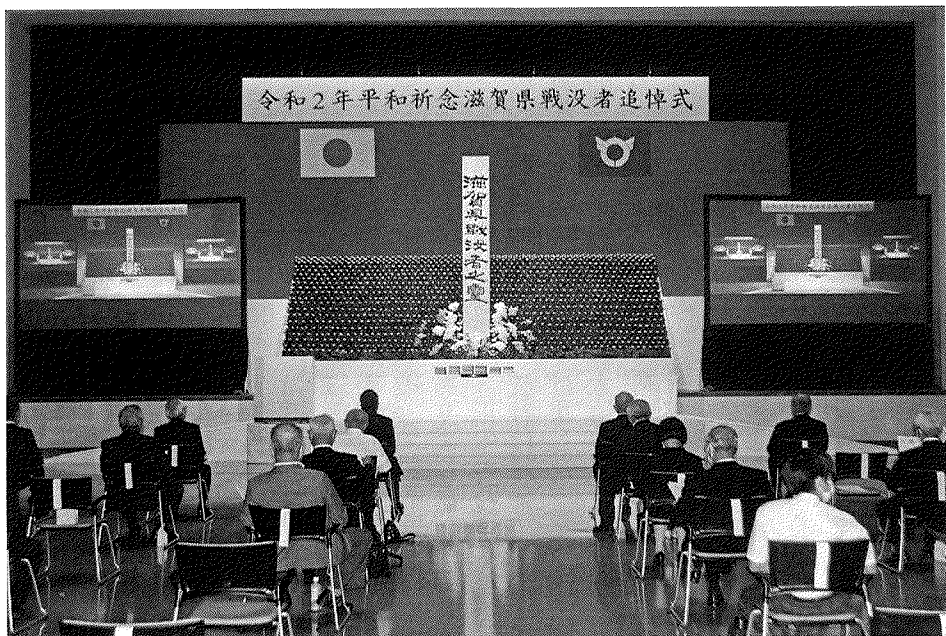


悲慘な歴史繰り返さぬ 決意新たに



コロナ禍の中、県遺族会役員と郡市町代表者の61人が参列

会場には、神田浩山滋賀県書道協会理事長の揮

今年で7回目となる滋賀県主催の令和2年平和祈念戦没者追悼式が8月29日、米原市の滋賀県立文化産業交流会館で開催された。例年、多数の遺族会員参列のもと行われてきた式典は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、感染防止のため、滋賀県遺族会役員および県下郡市町の代表者のみ61人が参列して進められた。

令和2年平和祈念 滋賀県戦没者追悼式



発行所
一般財団法人滋賀県遺族会
滋賀県大津市におの浜4丁目2-34
滋賀県遺族会館
電話 (077)522-7227
FAX (077)522-7233
発行責任者
滋賀県遺族会会長
大長 弥宗治

毫による「滋賀県戦没者之霊」の標柱と菊花1300本で飾られた祭壇が据えられ、左右には登壇者や字幕、手話通訳の映像を映し出す大型スクリーンが設置された。また、壇上正面に県内3万2千余柱の戦没者名と出身地が記載された芳名帳が祀

られる中、式典が挙行された。式典の司会進行は、滋賀県遺族会青年委員会の貴多裕美子さんによって行われた。国歌が演奏された後、三日月大造滋賀県知事は式辞で「いまだ、はるか北の大地や南の島々に眠り、ふるさとへのご帰還を果たされていないご遺骨のことも、私たちは忘れてはならない。戦争の悲惨さと平和の尊さをしっかりと次の世代に語り継いでいくことは、今に生きる私たちの使命であり、今後も様々な機会を通じて、戦争の記憶を次世代に伝えていく」と決意を述べられた。

一同黙祷の後、細江正人滋賀県議会議長、大長弥宗治滋賀県遺族会会長が追悼の辞を述べた。大長会長は「悲惨な先の大戦が最終して75年の歳月が流れた。時は流れても、かけがえのない子や夫を一枚の赤紙、召集令状で奪われた親たち、最愛の夫を亡くして路頭に迷う母たちの辛くも悲しい道



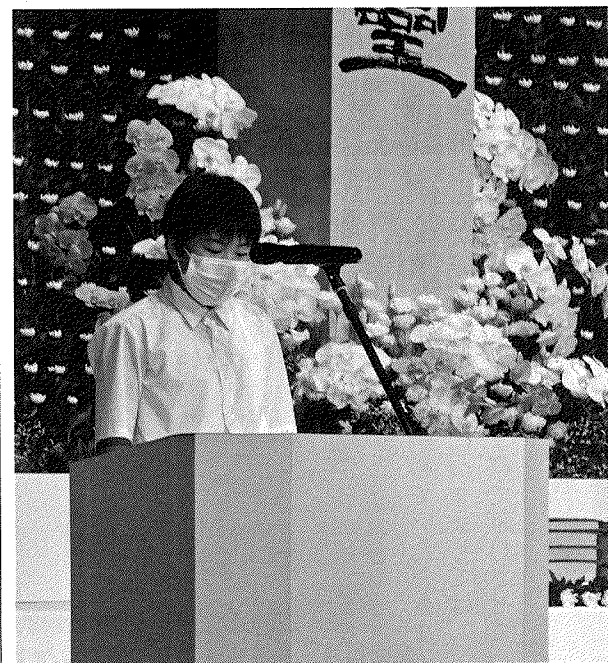
式辞を述べる三日月知事

のりは、今も癒やされることはない。戦争を知らない世代が8割を超え、戦争の風化が大きな課題となっている。私たちは、悲惨な悲しみの歴史を二度と繰り返さない決意を新たに、戦争の悲惨さと愚かさ、平和の尊さを風化させることのない

戦争がどうやったらなくせるかと、何万人という人が考えてきたかも知れません。しかし、それでも世の中から戦争は消えていません。それは言葉で表せるほど簡単なことではないからでしょう。世界を見ても、今現在戦争はなくなっています。それだけ戦争をなくすことが難しいのでしょうか。

平和メッセージ 対話による相互理解で 戦争なくしたい

大津市立打出中学校1年 川部 昂



平和メッセージを発表する川部さん

今まで戦争とは、武力で何かを解決するものだと簡単に考えていました。しかし、私は学ばせていると気づくことが出てきました。戦争はそれだけではないことに、勝ったものは正義になり、負けたものは悪になります。例えば、第二次世界大戦の時、ナチスドイツによるユダヤ人大量虐殺が

ありました。これは残忍で大変恐ろしく、許されない行為です。しかしどうでしょう、当時のアメリカ軍が広島と長崎に原子爆弾を落とすと、数十万人の人々を一瞬にして死に至らしめる大量虐殺を行いました。爆発地域の住民を巻き込む大量虐殺です。これは、ナチスドイツの行った虐殺と同じようなことではないのでしょうか。同じ虐殺を行っても、最終的に戦争に負ければ裁判にかけられ、罪で恐ろしいだけの残酷なと言われ処罰され、勝利すれば正義で大量虐殺をしても、戦争を終わらせるためには必要なことだったと、罪に問われることなく済まされます。戦争は理不尽で不条理なものではありません。戦争に真の正しさはありません。戦争は人々を苦しませ、悲しませ、何も良いことがありません。平和ほど困難で、実現が難しいものはないと思います。しかし、戦争はな

ように、次の世代にしっかりと語り継ぐ努力が、今に生きる私たちの使命だ」と戦没者の御霊に誓った。

続いて参列者全員の献花が行われ、最後に、大津市立打出中学校1年の川部昂さんが平和メッセージを発表した。川部さんは「平和ほど困難で、実現が難しいものはない。戦争を起ささないためには、相手の話に耳を傾け、違いを理解して行動することが大切であり、世界中の人々とも対話と理解が必要である」と力強く訴え、参列者の賛同を得た。

今回、規模は縮小されたものの、戦後75年の節目の年の追悼式は感慨深いものとなった。

(広報 吉岡 武彦)

そのためには世界中の人々と対話し、相互理解を深めることが大切だと思います。それだけではなく、相手が自分と違う考えを持っているとき、相手を差別したり、無理矢理同じ考えに持つていくのではなく、相手が何故違う考えを持っているのかを聞いて、その理由についてよく考えてから行動に移さないと、相手のことを理解できないかも知れません。一人ひとりの考えが尊重されるべきであって、自分の考えだけが正しいのではないことを理解しないと、良くないでしょう。なので、対話をして、自分と相手の考えの違いをしっかりと考えて話さないと、相手にも自分にも良くないと思います。これが平和を実現することに繋がると思います。